

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「2018 山の信州・南へ」伊那路・木曾路広域観光宣伝事業
事業主体 (連絡先)	伊那路・木曾路広域観光連携会議 (代表者: 伊那路観光連盟会長牧野光朗) 会計責任者名(注): 駒ヶ根市観光推進課観光係 黒河内 英樹 印
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり ①地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,089,950 円 (うち支援金: 2,471,000 円)

事業内容

- ①伊那路・木曾路フォトパンフ・ポスター作成  
フォトパンフ印刷 42,000 部  
ポスター印刷 400 枚
- ②山岳高原アウトドアに特化した誘客宣伝活動  
軽井沢ショッピングプラザへ「信州 伊那路・木曾路マルシェ」を出展
- ③伊那路・木曾路フォトパンフ・ポスターの配布
- ④伊那路・木曾路広域観光連携懇談会  
広域観光連携に関する講演会・意見交換会



【伊那路・木曾路フォトパンフ】

事業効果

- ①伊那路・木曾路「フォトパンフ」及びポスターを作成し、地域の暮らしや人にスポットを当てた「笑顔」をテーマに作成したことで、伊那路・木曾路のありのままの魅力を印象づけ、誘客を促すためのPRが図れた。
- ②長野県に関心のある方お客様に効果的なPRを行うため、軽井沢ショッピングプラザで食をテーマにしたイベント出店行った。
- ③伊那路・木曾路「フォトパンフ」については、都市部の関係施設等へ配布を行い、誘客促進を図ることができた。
- ④観光に携わる幅広い関係者が一同に会し、広域観光圏としての戦略や将来を見据えた事業展開を探る絶好の機会となった。

【目標・ねらい】

- ①伊那路・木曾路のイメージ強く印象づけるための情報発信
- ②統一的テーマによる効果的な観光PR
- ③都市部における観光誘客促進
- ④広域観光圏としての戦略や将来を見据えた事業展開を探る

※自己評価【A】

【理由】

広域観光における連携体制が強化されたことで、新たな誘客促進活動へのステップアップが図られた。

今後の取り組み

これまでの誘客促進活動や様々な事業展開の取り組みを活かし、更に広域観光圏としての魅力を最大限に引き出すための事業推進を図るとともに、平成31年度からはDMOによる新たな広域連携の取り組みへの転換を図り、広域的な観光戦略の策定や実践活動を推進し、観光資源のブラッシュアップ、エリア全域での魅力創出とイメージアップを図るための事業を展開する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある